

## 自動体外式除細動器(AED)の使用

突然の心停止から蘇生するためにAEDによる除細動は重要です  
 AEDは心肺蘇生法(人工呼吸、胸骨圧迫)との組み合わせが必要です  
**AEDは乳児(1歳未満)には使用できません**

対象	使用方法	その他
小児 (1歳以上 8歳未満)	<p>電源を入れ、傷病者の上半身の衣服を取り除き、音声ガイドに従い、2つの電極パッドをAEDのマニュアルやパッドなどに表示されたイラストの位置に貼り付け、電気ショックを与える</p> <p>(体が濡れている場合は電極装着前にタオルなどで拭き取ること)</p> <p>電気ショックを1回実施し、電極パッドを付けたまま、直ちに心肺蘇生法を再開(5サイクル2分間)する</p> <p>以後、心電図解析 電気ショック 心肺蘇生法実施の手順を約2分間おきに繰り返す</p>	<p>AED到着まで心肺蘇生法(人工呼吸、胸骨圧迫)を続けること</p> <p>AEDが到着したら直ちに使用準備をおこない、準備できしだい使用すること</p> <p>電源を入れると音声ガイドが流れるので、その指示に従うこと</p> <p>電極パッドはしっかり肌に密着させること。また、貼り付け位置はAEDの機種により多少異なる場合があるので、表示されたイラストを確認すること</p> <p>音声ガイドで電気ショックは必要ありませんとの指示が出た場合もその後続く音声ガイドに従って胸骨圧迫を行い心肺蘇生法を再開する</p> <p>AEDは一定時間毎に心電図解析を行うので(電気ショックにより心臓の鼓動が回復しても再停止する場合もある)電極パッドは救急隊が到着するまで付けたままにすること</p> <p>小児用パッドがない場合などやむを得ない場合は、成人用パッドで代用する 2つのパッドを接触させないように注意すること</p>



(AEDの一例)

AED音声ガイドの「ショック不要」の指示は、心肺蘇生を止めてよいという意味ではありません。傷病者が動き出す、うめき声を出す、あるいは正常な息を回復するなどの場合以外は直ちに心肺蘇生を再開してください